

床シートについて

Q. 『あんから』と『ペディシート』の違いを教えてください。

A. 厚みは『あんから』が4mm、『ペディシート』は2.5mmです。『あんから』は軟質PVCと発泡軟質PVCが一体となった長尺シートで、発泡層が床面の冷たさを和らげ、万一の転倒時も衝撃を軽減します。『ペディシート』は樹脂層のみでクッション性はありません。

Q. 『あんから』を物件に施工する際、フクビの『接着剤セット』は使用できますか？

A. 使用できますが、接着剤はカートリッジタイプのため、物件のような広い面積の塗布作業には不向きです。

Q. 『あんから』をモルタル下地に施工する場合、物件は可で、住宅を不可としているのはなぜですか？

A. モルタルが十分に乾燥していることが『あんから』の施工条件です。住宅リフォームの場合、工期が決まっており、モルタルが半乾きの可能性があるため不可としています。十分な乾燥時間を確保していただく場合は、住宅にも施工可能です。

Q. 『あんから』をタイルの上から貼る場合の乾燥時間を教えてください。

A. 水気をよく拭き取って、24時間以上乾燥させてください。

浴室リフォーム工法について

Q. すべてのバスパネルをリフォーム工法(接着+テープ)に使用可能でしょうか？

A. 壁リフォームの対応製品は『バスミュール』『サンタリーゾーンパネル』『アルバレージ』の3種類です。他のバスパネルには使用できません。

Q. 壁リフォームでは、床際までパネルを貼ることが可能でしょうか？

A. 可能です。壁リフォームの場合は、躯体の防水が確保されていることが前提ですので、床際まで貼れます。ただし、切断面が床と接しないよう、見切をご使用ください。

下地について

Q. 防湿対策として、外壁用として使われる透湿防水シート(スーパーエアテックス)を使っても問題ありませんか？

A. 使用不可です。
湿気を通しますので、下地の防湿対策にはなりません。防湿シートである「バリアエース」を使用してください。

Q. 天井と壁、どちらを先に施工すればよいでしょうか？

A. 壁先行で施工してください。

換気について

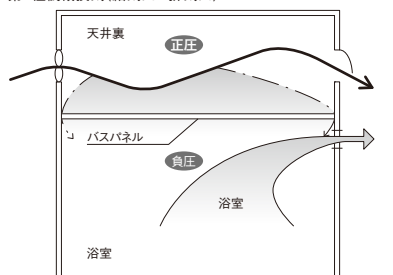
Q. 一番有効な天井の結露対策は何ですか？

A. 浴室内の換気です。浴槽から発生する蒸気を、天井に当たる前に排気することで、結露は軽減します。
※最近の大浴場は、浴室換気がしっかり行われており、天井結露が少なくなっています。

Q. 天井に発生する結露水を流すには、天井傾斜はどのくらい必要ですか？

A. 45°以上の急勾配が必要とされており、現実的ではありません。そのため結露対策としては、十分な浴室換気を実施してください。

物件(軽量鉄骨下地)施工の天井裏換気方法
第2種機械換気(給気口+排気口)



- 天井裏換気に第2種機械換気を設置して、天井裏が正圧、浴室が負圧になるようにし、湿気を含んだ空気が天井裏に侵入しないようにしてください。
- 天井裏換気が無い場合、天井裏へ侵入した湿気が蓄積し、下地が腐食するおそれがありますので、少なくとも自然換気を行ってください。また、軽量鉄骨下地に防湿シート・防水テープを貼ってください。